

積水ハウス株式会社

第73期 中間報告書

2023.02.01 > 2023.07.31

BUSINESS REPORT

ビジネスレポート

証券コード：1928



トップメッセージ

代表取締役
社長執行役員 兼 CEO

仲井 嘉浩

Top Message

第6次中期経営計画が順調にスタート。 積水ハウスらしい 「両利きの経営」を推し進めます。

過去最高の業績で達成することができた第5次中期経営計画。

その勢いを受け、「国内の“安定成長”と海外の“積極的成長”」を基本方針とする第6次中期経営計画が順調なスタートを切りました。

グローバルビジョン“「わが家」を世界一幸せな場所にする”の実現へ。

国内事業、国際事業、それを支える人的資本を含め、積水ハウスグループ全体が、力強く成長し、躍進していることを、株主の皆様にご報告させていただきます。

今回掲げた「ふたつの成長」の根幹となるのは、既存事業の深化と拡張、そして新規事業の開拓と拡張であり、

まさに積水ハウスらしい「両利きの経営」といえます。

今後も、コアコンピタンスに磨きをかけ、市場をさらに深掘りします。

一方で、「住」を基軸に、先人に学びながらも、私自身が認知の範囲を果敢に超え、新しい事業、企業のあり方を追求し、企業価値向上にまい進する決意です。

積水ハウスグループは、より意欲的に新たな成長を目指します。

Top Message

各セグメントの業績は上向きに推移。

新中計スタートから半年。国内事業においては、高付加価値提案を基本に展開するコアビジネス、戸建事業が堅調であり、積水ハウスブランドへの理解・共感が、一層進んでいる証だと意を強くしています。

徹底したエリアマーケティング戦略を進める賃貸事業は、太陽光発電を各住戸に接続する「シャームゾンZEH」が拡大基調を維持。この入居者売電方式は、2025年、全新築住宅への省エネ基準適合義務化という社会的要請がある中、当社の強みをますます発揮できる分野となるはずです。

今後、ブロックチェーン技術を用いた新サービス、物件内覧や契約、各種入居手続きのワンストップ化を強化し、新たな事業機会創出につなげます。

開発型ビジネスでは積水ハウス不動産グループの不動産売買事業が、グループ連携、ガバナンス強化により、予想を上回る成果を上げています。

国内の住宅産業を取り巻く環境は、決し

て順風とはいえません。コロナ禍での住宅需要増からの反動減や物価高、建築資材の高騰。そうした逆風が吹く中であっても、利益率向上に結びつく内部努力、コストダウンを含め、あらゆる角度からのアプローチにより、“安定成長”へのシナリオに沿った事業活動を進めています。上向きの業績に対して総労働時間は年々、減少しており、生産性向上も注目していただきたいポイントです。

海外事業に目を移せば、米国子会社 Woodside Homes社がM&Aを実施。Hubble Homes (アイダホ州) がグループの一員となりました。2025年、海外市場での年間戸建住宅供給1万戸に向け、8州目となるエリア拡大。また、米国の戸建住宅市場が想定以上に回復している中、木造住宅「シャウッド」の本格販売へのマーケティングも加速させる計画です。

“積極的成長”への基盤は整ってきました。独自技術や販売手法を海外に移植するというグローバル企業への着実な歩みに、どうぞご期待ください。

「良質な住宅ストックの形成」に向け、新たな提案、施策を次々に。

社会変化に対応しながら、常に一步先を行く住まい、住まい方を提案する積水ハウス。9月より住宅のスケルトン部分(基礎・構造躯体)を積水ハウス建設で施工し、インフィル部分(外装・内装)はパートナー企業である地域ビルダーが担当する共同建築方式「SI (Skeleton&Infill) 事業」がスタートしました。

日本の住宅ストックの29%が新耐震基準以前に建てられており、基準適合住宅でさえ近年の大規模地震により一部倒壊した報告もあります。断熱基準適合に至っては、わずか11%。耐震性、省エネ性能の向上は、オールジャパン体制で取り組むべき国家的課題です。住宅メーカーが独自技術をオープンにし、地域ビルダーとタッグを組む日本初の試みです。積水ハウスの技術の外部移植ともなり使命感とともにスピード感を持って全国に広める考えです。

また、6月には、人生100年時代の「幸せ



住まい」の考えに基づく新デザイン提案システム「life knit design」を発表しました。

良質な住宅ストックに“愛着”を編み込むことで、「長く住める家」から「長く住み続けたい家」へ。インテリアもエクステリアも、お客様一人ひとりの“感性”に響く提案を行うことで、長く“愛着”を持っていただける幸せ住まいを実現します。

循環型社会を迎える今、わが家を大事に思い、心地よく住み続けたい“気分”“心のありよう”は大切なテーマです。「家族の“幸せな大空間”が、人生に豊かさを与えてくれる“感性の器”になる」。私はそのようなイメージを持っています。

Top Message

お客様と積水ハウスの担当者が“感性”を共有することで、理想とする空間に、回り道せずにとどり着くことができます。結果として、住まいづくりの時間短縮、効率化が図れるという側面もあります。

人的資本経営の実践。

私は、「イノベーション&コミュニケーション」を合言葉に、企業の成長のドライバーとなる人財価値の向上を図りたいと考えています。積水ハウスグループの人財価値は、「従業員の自律」と「ベクトルの一致」の掛け算から生まれると定義しました。キャリア自律は従業員が積水ハウスグ



「SHIP」最終審査会の様子

ープという資源を利用しながら主体的に行動することに加え、ベクトルの一致は、ビジョンや戦略を共有し、波及させ持続的な成長ができる環境や仕組み作りが必要だと考えるからです。

例えば、2021年に創設した全従業員参画の創発型表彰制度（通称「SHIP」）が活発化しています。新ビジネスやテクノロジー、社内制度のアイデアを募る「イノベーション部門」、企業価値向上への貢献を主眼とする「パフォーマンス部門」。ネット上のプラットフォームにアイデアを投稿。閲覧した他の従業員との意見交換や賛同者のチーム参加など、社内横断的なコミュニケーションを体現する仕組みです。「いいアイデアには予算をつけてプロジェクト化する」。私が自身の言葉で従業員に約束しています。第1回受賞アイデアは、プロジェクト化への準備が整いつつあり、また、社内の意識の高まりから今年開催の第2回の応募数は大幅に増加しました。

一方、マテリアリティの一つである「ダイバーシティ&インクルージョン」のもと、女

性の活躍は当然ながら、障害の有無や年齢、国籍などを問わず、だれもが自分らしく働き、その能力を発揮できる環境や制度作りを積極的に推進しています。引き続き、多様な働き方ができる柔軟性の高い制度の導入や運用を目指します。

最近では、5月に積水ハウス建設が高校卒業予定者を中心とした住宅技能工「クラフター」の採用をより積極化する計画を取りまとめました。建設現場での高齢化、若年就業者の減少。こうした社会課題と向き合いながら、私たちのコアコンピタンスである「施工力」を維持・向上させるための具体策のひとつです。発表以来、高校生や保護者、関係方面から大きな反響をいただいています。

良質な住宅ストックを、一棟でも多く、それを支える若い人財、優秀な多能工を育成し、「SI事業」を通じて地域ビルダーとも手を携える。また、人生100年時代。そして、循環型社会へ。「住み続けたい」という“感性”からのアプローチで新しい住空間を提案する。積水ハウスのすべての事



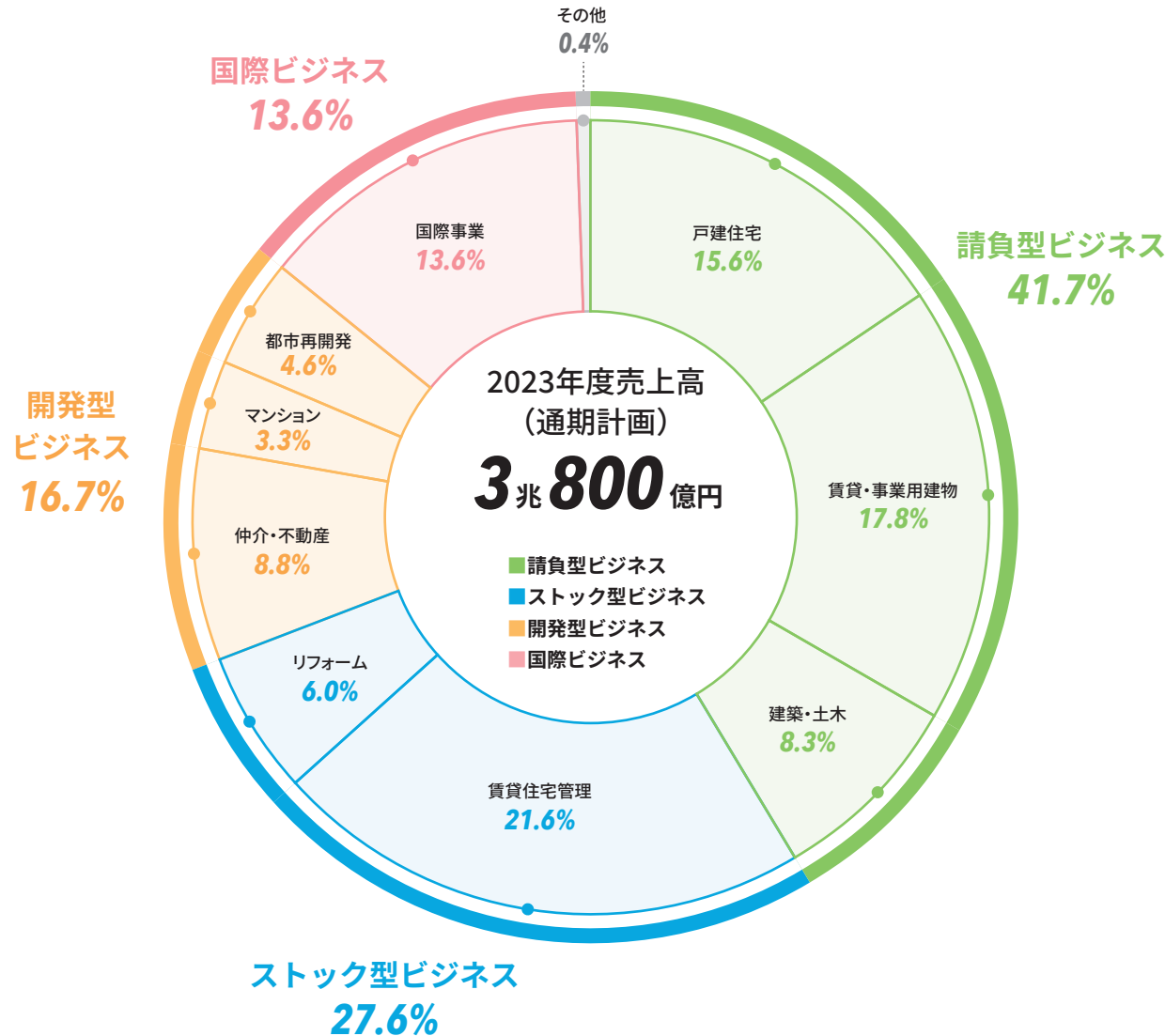
業・施策が、社会課題の解決とともにあります。「大義あるイノベーション」を生み出し続けることが私たちの存在意義です。

また、ESGのリーディングカンパニーを目指す企業として、何より環境に敏感であり、従業員の幸せにもしっかりと目を配る。そうした意味で、積水ハウスの「両利きの経営」は、「成長」と「大義」を両立させる経営ともいえます。

ハード・ソフト・サービスを融合し、幸せを提案しながらグローバルビジョン実現を目指します。引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。

積水ハウスグループの事業ポートフォリオ

2023年度売上高(通期計画)構成比



各ビジネスの概要および第2四半期売上高・通期計画進捗率



請負型ビジネス

お客様の保有する土地に、付加価値の高い住宅や事業用建物を提供。良質な社会資本の形成に貢献します。

2023年度第2四半期

売上高 **6,188**億円 進捗率 **48.0%**



ストック型ビジネス

賃貸住宅の質の高い管理や住宅のリフォームを通じて資産価値の維持と向上を図り、循環型社会の構築を推進します。

2023年度第2四半期

売上高 **4,094**億円 進捗率 **50.1%**

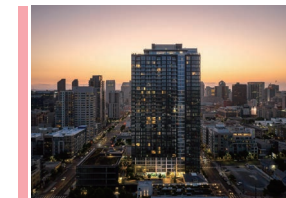


開発型ビジネス

魅力的なエリアで、住宅用地や高品質なマンション、オフィスビル等を開発し、良質なまちづくりを図ります。

2023年度第2四半期

売上高 **2,485**億円 進捗率 **48.5%**



国際ビジネス

国内で培ってきた最高品質と先端技術で、海外の住宅ニーズを開拓。各国の不動産事情に合わせ、SEKISUI HOUSEブランドを広げます。

2023年度第2四半期

売上高 **2,017**億円 進捗率 **41.8%**

業績報告

連結決算ハイライト

売上高

前年同期比 +2.7%

1兆4,624億円

営業利益

前年同期比 △14.7%

1,249億円

経常利益

前年同期比 △15.2%

1,252億円

親会社株主に帰属する当期純利益

前年同期比 △11.1%

924億円

累積建築戸数(国内)

前年度末比 +17,231戸

260万1,209戸

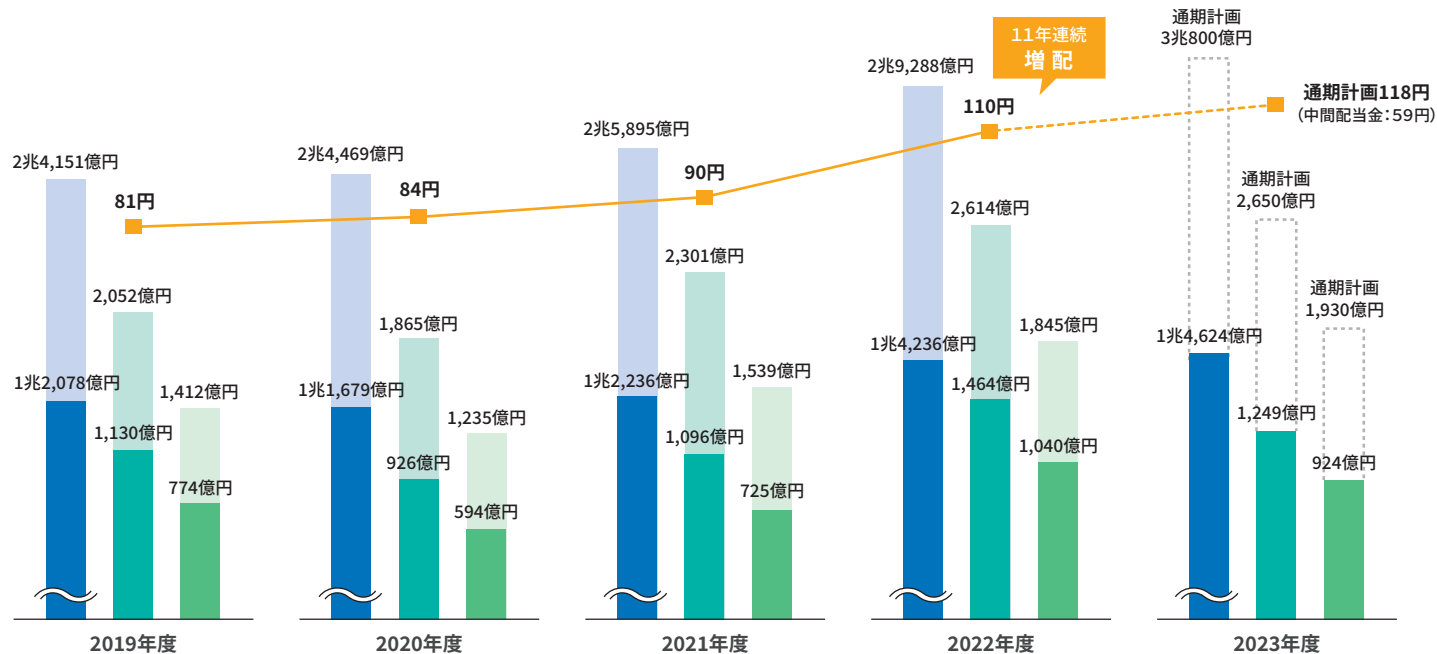
累積建築戸数(海外)

前年度末比 +2,174戸

4万941戸

第6次中期経営計画初年度である2023年度第2四半期決算は、世界的なインフレ圧力により各国の金融引き締め政策の継続や資材価格高騰の影響もありましたが、グローバルビジョン“「わが家」を世界一幸せな場所にする”の実現に向け、「国内の“安定成長”と海外の“積極的成長”」を基本方針とし、ハード・ソフト・サービスを融合した様々な高付加価値提案等を積極的に推進したことにより、過去最高の売上高1兆4,624億円を達成しました。営業利益は減益となりましたが、計画通りの進捗であり、通期での過去最高益達成に向け着実に事業を推進しています。通期計画は売上高3兆800億円、営業利益2,650億円としており、配当金は通期で118円を予定しています。

売上高(■第2四半期・■通期) 営業利益(■第2四半期・■通期) 当期純利益(■第2四半期・■通期) 通期配当金



貸借対照表

(単位:億円)

	2022年度末	2023年度 第2四半期末
流動資産	20,938	23,723
固定資産	9,136	9,042
資産合計	30,075	32,766
流動負債	10,446	10,990
固定負債	2,953	4,171
負債合計	13,399	15,161
純資産	16,675	17,604
負債・純資産合計	30,075	32,766

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期
現金及び現金同等物の期首残高	5,151	3,327
営業活動によるキャッシュ・フロー	616	△498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△990	△377
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194	526
現金及び現金同等物に係る換算差額	146	66
現金及び現金同等物の期末残高	4,728	3,044

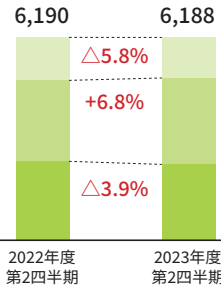
セグメント別業績報告

請負型ビジネス

(単位:億円)

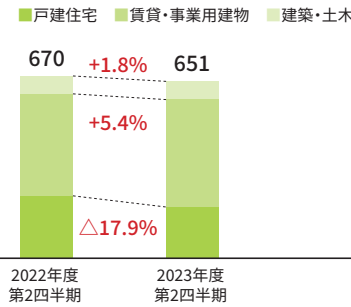
売上高

戸建住宅は減収、賃貸・事業用建物は順調な工事進捗により増収、高付加価値住宅の提案により受注好調が継続。建築・土木は前年並みだが、受注は堅調。



営業利益

戸建住宅は資材価格高騰の影響で減益も利益率の改善が進み、賃貸・事業用建物は増収と1棟当たり単価の上昇により増益。建築・土木は利益率改善により増益。

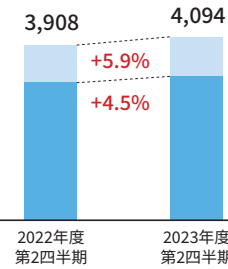


ストック型ビジネス

(単位:億円)

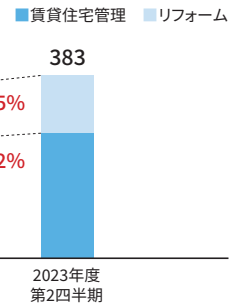
売上高

賃貸住宅管理・リフォームともに安定成長が継続。賃貸住宅管理は、管理室数が順調に増加。提案型リフォームおよび省エネ等の環境型リフォームが好調。



営業利益

賃貸住宅管理は、管理室数の増加および高水準な入居率を維持し増益。リフォームは、大型案件の受注割合の増加等により利益率の改善が継続し増益。

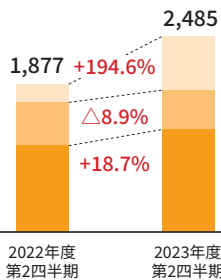


開発型ビジネス

(単位:億円)

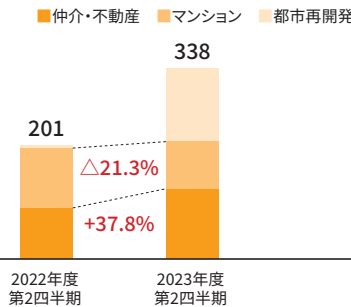
売上高

仲介・不動産は優良な土地の積極的な仕入れを継続、好調な不動産販売が寄与し増収、マンションは計画通りに進捗。都市再開発は物件売却により大幅な増収。



営業利益

仲介・不動産は増収に加え利益率改善により大幅な増益。マンションは安定的に物件供給を実施し計画通りに進捗。都市再開発は、商業・オフィス物件の売却を実施。

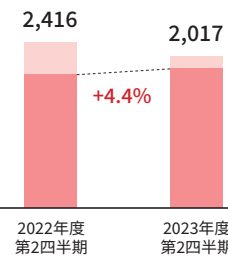


国際ビジネス

(単位:億円)

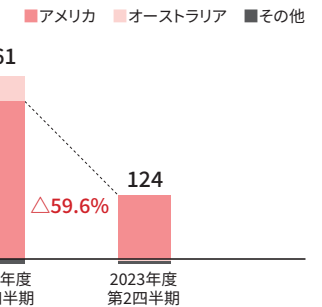
売上高

米国は戸建住宅の販売エリア拡大に向けたテキサス州のビルダー買収効果により増収、コミュニティ開発・賃貸住宅開発や豪州の事業は、計画通りに進捗。



営業利益

米国は賃貸住宅開発の物件売却差異や戸建住宅が昨年の金利高影響により減益も、受注は回復傾向。豪州は物件売却の端境期により減益も計画通りに進捗。





特集

時間と共に愛着を編み込む住まい

100年の人生に寄り添う「長く住みたい家」へ

新たなデザイン思想に基づく家づくり「Life knit design」が始動。

今号では、お客様の“感性”に寄り添う新たな取り組みをご紹介します。

住まいの印象や快適さを大きく左右する床材 高付加価値の商品力で“本物志向”のニーズをつかむ

長く住み続けることを考えたとき、インテリアにおいて最も重要なのは、ベース部材である床材・壁・天井です。なかでも床材には、丸太から伐り出した「無垢材」、複数層の板を貼り合わせた床材のうち、厚く挽いた木材を表面に貼った「挽板」、薄くスライスした木材を貼った「突板」があります。木はシンプルな素材ながら、樹種や塗装により、多様なお客様のニーズに応えることができます。また、切る位置で木目が異なるため一つひとつに個性があり、これを日常生活で楽しめるのも魅力です。特に、天然素材をそのまま使用する無垢材は膨張・収縮する性質があるものの、踏み心地や肌ざわりが良くて意匠性に富む素材。調湿作用によってリラックス効果があるともいわれます。経年変化を楽しみながら一緒に人生を歩める床材は、良質な住宅ストックを提供する積水ハウスの家づくりにおいて重要な素材のひとつです。

2022年9月に積水ハウスが子会社化した(株)マルホンは、1934年の創業以来、床・壁・天井・カウンター・階段向けに、インテリア材を輸入・企画・製造・販売するメーカーです。なかでも、高品質かつデザイン性に優れた無垢材を広く扱っており、樹種は40～50種類。木の特性を生かす塗装技術と豊富なサイズ展開で、400点以上の商品を供給してきました。また、社員自らが世界各国の産地へ足を運んで精査・選別し、サステナブルな調達に努めています。同社の環境への配慮といった「社会価値」、木材が居心地の良さや安らぎにつながるという「感性価値」が、今後ますます求められる時代に。

木材を中心とするインテリア素材は、100年の人生に寄り添う、「長く住み続けたい家」に欠かせない要素。積水ハウスは、新たなデザイン思想に基づく家づくり「Life knit design」が始動しお客様の感性に寄り添った、提案力の向上を目指します。



無垢の床材を使用しヘリンボーンに張り上げた上品なフローリング。レグナムコート大宮展示場



マルホンのショールーム。多種多様な木材を見ることができる。



life knit design

life knit design「6つの感性フィールド」



静

Peaceful

優

Tender

凜

Spirit

暖

Cozy

艶

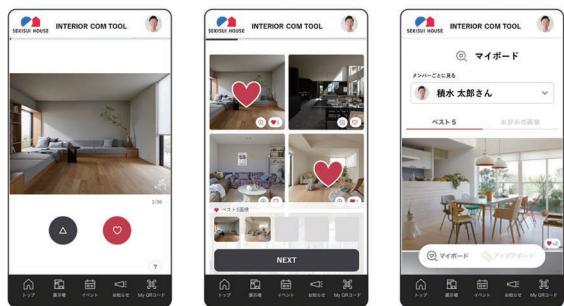
Luxe

奏

Playful

ジャパニーズ・モダン・ヨーロピアンといった「テイスト」に代わり、「6つの感性フィールド」を定め、打合せ初期からお客様の感性に寄り添う対話を深めます。

life knit designのコミュニケーションツール



家族で好みのインテリアや空間を発見し、共有できるインテリアコミュニケーションツール。お好みの画像や好きな理由を整理できるので、担当者へこだわり等を伝えやすい。



素材の良さを自分の手で体感し、モノづくりのストーリーを知ることができる「マテリアルビュッフェ」。



6つの感性フィールドの素材イメージに触れていただく「感性コラージュボックス」。

お客様一人ひとりの“感性”に寄り添う

ライフ ニット デザイン

新たなデザイン思想「life knit design」が誕生

life knit designのインテリア提案では、長く愛着を持って住み続けていただける普遍的な美しい提案を具現化するため、これまでの和・洋・モダンなど流行に合わせたテイスト提案から脱却し、美しいインテリアビジュアル画像から受ける印象を言語化し導き出した独自の「6つの感性フィールド」へと変革します。life knit designの開発にあたり、お客様の実物件やインテリア雑誌の画像など6,600点もの画像を分析しました。すると、美しい空間やインテリアは、空間自体が整ったシンプルな構成と素材で成り立っていることを発見。シンプルで美しい空間と家具や小物を掛け合わせることでお客様の“感性”を映し出す新たなシステムによりお客様一人ひとりに寄り添うインテリアを提案します。

お客様の感性を掘り起こし、お客様との対話を進めるための各種ツールを開発。インテリアコミュニケーションツールでは、36枚の積水ハウスのインテリア空間画像から、家族それぞれの好みの画像とその理由を担当者へ共有することができ、6つの感性フィールドを素材の組み合わせによって表現した「感性コラージュボックス」では、実際の素材に触れながら、色や質感のイメージを会話し、感性を深掘りしていただけます。また、厳選された素材に触れていただける「マテリアルビュッフェ」では、環境への取り組みや、モノづくりのストーリーなども知ることができます。

また、life knit atelierが全国84か所にオープンしました。これまでは、契約後に仕様を決める打ち合わせの場として、SHIC ROOMを活用してきました。これからは、上述のコンテンツを用い、“感性”に響くこだわりの住まいがデザインされる場としてlife knit atelierを契約前から活用することで、期待感の創出とブランド向上



感性に響くこだわりの住まいがデザインされる場所。
life knit atelier仙台

をねらいます。

従来のインテリアシステム「SHIC」からlife knit designへの移行にあたり、約3,000点から2,200点へと部材を絞り込みました。これにより物価高の影響を最小限に抑えることができました。また、業界に先駆け使用を停止した塩ビクロスに代わり、環境にやさしいオレフィンクロスを壁紙に標準採用していること。長く愛着の持てる、無垢・挽板フローリングを採用していることなど、これまでに十分に伝えてこなかった価値についても積極的に訴求してまいります。

life knit designの誕生により打合せの初期から、お客様の感性に寄り添い、社内連携を強固にすることで、満足度の高いご提案が可能になります。心の豊かさや本物志向といった「感性価値」と地球環境に配慮した「社会価値」の観点から、お客様に寄り添った住まいづくりをご提案します。

※SHIC ROOM…SHICはSekisui House Interior Coordinationの略。インテリア選びの場やショールームとしても機能してきたが、現在はlife knit atelierとして統一された。

今年の株主様向け見学会は、life knit designを体現したライフスタイル型モデルハウスをご案内予定。
詳細は13ページをご覧ください。

Interview

life knit design

業務役員 デザイン設計部長

矢野 直子

技術と機能に加え、感性・社会価値を育む

デザイン部門を強化するため、転職してきたのが3年前のこと。積水ハウスの歴史や実績を知るうちに、技術と機能価値の面では住宅業界をリードする力がある。これに感性価値と社会価値が加われば、お客様と共に愛着を編み込むデザインを提供できるはず。そう考えて、ようやくたどり着いたのが「life knit design」です。

しかし、このコンセプトは私たちがゼロから生み出したものではありません。創業から63年の時を経て、積水ハウスに培われてきたコンテンツを再編集して整理し、デザインシステムとして明文化したものととらえています。

life knit designの床板には、挽板を標準採用していますが、裸足で歩くと木の温かみを感じ、長い年月を経て愛着の増す部材です。また優れた木材を提供するマルホンがグループに入ることで、部材の共同開発はもちろん、余剰材の活用など地球環境にも貢献できると思います。

これからも積水ハウスグループ全体で、100年の人生に寄り添う住まいづくりに力を注ぎます。



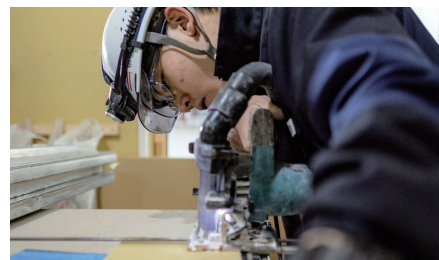
TOPICS

お客様の「幸せ」とサステナブルな社会の実現に貢献するために。
ESG経営のリーディングカンパニーを目指して、様々な活動を行っています。

積水ハウス建設の“住宅技能工”であるクラフターの採用を強化 「2024年問題」に向けて、働き方改革と待遇改善を推進

積水ハウスグループの積水ハウス建設では、高校卒業予定者を中心に、2024年4月入社では年間95名（今期の2.4倍）、2025年4月入社では年間133名（同3.4倍）と大幅な採用増員を計画しています。新人事制度では、“住宅技能工”を「クラフター」へと改称し、工事責任者への職種変更も可能に。基礎から建方、内装を一棟丸ごと担う多能工の育成を図るとともに、チーフクラフター（課長クラス）の年収を最大約1.8倍と大幅改善します。この背景には、建設現場での高齢化、若年就業者の減少、さらに2024年問題※があります。

同社では、「4週8休」「年間休日120日」「完全週休2日制」「男性育休取得率100%」など、働き方改革にも力を注いできました。グループの大規模な工事数を活かして、業務のピークを平準化して労働環境の改善に取り組めます。



積水ハウス建設の若手クラフターたち。



“住宅技能工”をさらに魅力的にする取り組み

採用強化	2024年4月入社は今期の2.4倍の年間95名、2025年4月入社は3.4倍の133名。
新人事制度	“住宅技能工”の名称を「クラフター」に。新評価制度による客観的評価も導入。スキル・マトリックスによる多能工人材の評価・育成。
処遇大幅改善	2023年4月から初任給を月収・年収ベースで最大11%UP。チーフクラフター（職長）の待遇を大幅改善し30代年収約900万円も（最大約1.8倍）
多能工育成	全国3か所の教育訓練センター・訓練校で基本から応用まで教育し多能工育成を強化。
福利厚生推進	完全週休2日制、年間休日120日、男性育休取得率100%の継続。
ユニフォーム	クラフター全員が着用する統一ユニフォームを新たに制作。



（株）ビームスのユニフォームブランドに依頼して制作した新ユニフォームを導入。現場のイメージアップと社員の満足度向上を図る。

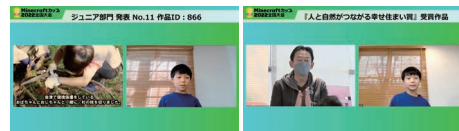
未来の社会を担う「子ども」のプログラミング教育を応援 家づくりとまちづくりの楽しさとともに、SDGsの認知に貢献

ものづくりゲーム「Minecraft」は、世界中の子どもたちに大人気のゲームです。3D空間のなかでブロックを壊したり組み合わせたりして、手に入れた素材で建物や家具をつくりながら、論理的思考を養えるのが特徴です。

Minecraftカップは、世界各国の教育現場で活用されている「教育版マイクラフト」を使った作品コンテストです。積水ハウスがゴールドパートナーとして参画するのは3年目です。現在開催中の第5回Minecraftカップでは、「誰もが元気に安心して暮らせる持続可能な社会～クリーンエネルギーで住み続けられるまち～」をテーマに、作品を募集。異なる性別・年齢・国籍・人種の人たちが互いに認め合い、個性や能力を発揮できる社会。石油・ガスなど化石燃料に依存せず、地球温暖化や大気汚染のない社会。地域の文化や風土に合った家づくりやまちづくりが実現する社会など。Minecraftカップを通じて、子どもたちが社会課題やSDGsへの関心を高めるきっかけになればと思います。

受賞チーム

最優秀賞(人と自然がつながる幸せ住まい賞とのダブル受賞)(2022年大会)



積水ハウス賞(2021年大会)



サステナブルまちづくり賞(2022年大会)



FINALIST



※画像は前回までの大会の様子です。

トピックス②

Minecraft カップに参画



第5回 Minecraftカップ

作品テーマ

誰もが元気に安心して暮らせる持続可能な社会

～クリーンエネルギーで住み続けられるまち～



「家族の幸せを実現する家づくり」を体験しませんか？

株主様向け「Tomorrow's Life Museum 関東」見学会

株主の皆様にご理解を深めていただく機会として、当社Tomorrow's Life Museum 関東見学会を開催いたします。リアルな暮らしの体験や特集で取り上げたお客様一人ひとりの“感性”に寄り添う新デザイン提案システム「life knit design」を体感していただけます。また家づくりの技術もご案内予定です。

なお、今回は4年ぶりに対面での見学会を予定しており、実際に住まいの暖かみ、素材のぬくもりをご体験いただけるようなご案内を考えております。本見学会を株主の皆様と活発なコミュニケーションの場として活用させていただきたく、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2023年11月15日(水) 10時30分～16時30分(予定)

見学場所

ご応募いただける方

参加費

Tomorrow's life Museum 関東(茨城県古河市)

集合場所：JR古河駅

※集合場所から見学場所までバスで往復送迎
※集合場所に駐車場のご用意はございません。

2023年7月31日現在、議決権を有する
当社株式100株以上所有の株主様

※ご同伴者様1名まで可

無料

※集合・解散場所までの往復交通費は
株主様のご負担とさせていただきます。

応募方法

ご応募にあたり、事前に関心事項等をお聞かせいただきたく、簡単なアンケートのご回答をお願いいたします。ご回答をもって参加のご応募とさせていただきます。右記URLよりアクセスのうえ、必要事項のご入力をお願いいたします。

ご応募はこちら



<https://q.srdb.jp/1928/>

応募締め切り 2023年10月16日(月) 23時59分

応募多数の場合は抽選とさせていただきます。ご参加いただく株主様への詳細な案内は2023年10月下旬にご案内いたします。

- ご見学時の写真・ビデオ撮影はお断りさせていただいておりますのでご了承ください。
- ご見学において、徒歩移動、階段の昇り降りがございますのであらかじめご了承ください。
- ご応募により当社が取得する株主様(ご同伴者様)の個人情報は本見学会を実施する上での業務以外には使用いたしません。

お問い合わせ

積水ハウス株式会社 株主様見学会係 (IR部)

☎ 03-5575-1790 9時～18時(土・日・休祝日除く) ✉ investor.relations@sekisuihouse.co.jp



会社情報／株式情報

会社概要

社 名：積水ハウス株式会社
設立年月日(実質上)：1960年8月1日
本 社：〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.06-6440-3111(代)
資 本 金：2,028億5,449万円

取締役および監査役一覧 (2023年7月31日現在)

代表取締役社長執行役員兼CEO：仲井 嘉浩
代表取締役副会長執行役員：堀内 容介
代表取締役副社長執行役員：田中 聡
取締役専務執行役員：石井 徹
取締役専務執行役員：篠崎 浩士
取締役(社外)：吉丸 由紀子
取締役(社外)：北沢 利文
取締役(社外)：中島 好美
取締役(社外)：武川 恵子
取締役(社外)：阿部 伸一
常任監査役：伊藤 みどり
常任監査役：荻野 隆
常任監査役(社外)：鶴田 龍一
監査役(社外)：小林 敬
監査役(社外)：和田 頼知

株式の状況 (2023年7月31日現在)

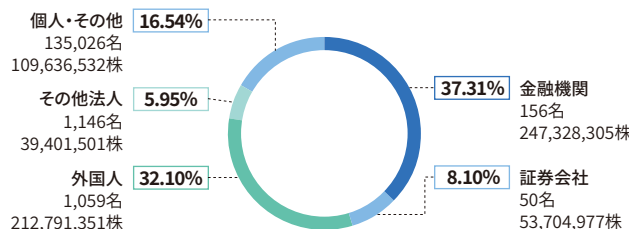
発行可能株式総数：1,978,281,000株
発行済株式の総数：662,862,666株(うち自己株式11,145,482株)
単 元 株 式 数：100株
株 主 総 数：137,437名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	110,823,300	17.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	41,344,700	6.34
SMBC日興証券株式会社	24,915,700	3.82
積水ハウス育資会	20,479,466	3.14
積水化学工業株式会社	14,168,727	2.17
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	13,997,899	2.15
日本証券金融株式会社	8,412,000	1.29
株式会社三菱UFJ銀行	8,174,715	1.25
第一生命保険株式会社	7,903,230	1.21
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERS	6,958,540	1.07

※持株比率については、持株数を発行済株式の総数より自己株式を控除した数で除して算定しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度：2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会：4月
基準日：期末配当金 1月31日 中間配当金 7月31日
株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先：〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所：東京証券取引所・名古屋証券取引所

- 各種お手続きについて
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

※本株主メモは2023年7月時点の情報をもとに作成しております。

掲載項目以外の内容については、
当社ウェブサイトをご参照ください。



<https://www.sekisuihouse.co.jp/company/>

SEKISUI HOUSE

家に帰れば、積水ハウス。

幸せはひとつずつ

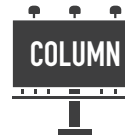
出会ったその日に、このひとりと思う
そんなドラマみたいな 私たちではなかったよめ
だんだん ひとつずつの 好きだな があって
いつか いちばんの 好きになってい
いまでは まます あなたでよかったと
そう思う 私って 幸せでしょ

いっしょに暮らして いろいろあって
それでも そんな私たちが つづくとしたら

この家で この家族で よかったなあ
これからも ずっとずっと 思えるとしたら

こんな場所は 世界にふたつとない
こんなに不思議な 幸福な場所は
ほかにない

積水大株主会
エコ・ファースト企業
積水ハウス株式会社
SEKISUI HOUSE



Vol.06

積水ハウス広告コレクション 「幸せはひとつずつ」

2023.5.25 全国紙掲載

「愛着のある暮らし」をテーマとして、住まいを愛しい家族になぞらえながら、
時間とともにますます好きになってゆくわが家が、
「世界でいちばん幸福な場所」であることを伝えています。
積水ハウスにお住まいのご家族の暮らしへの思いをお伝えすることで、
当社がお客様の住まいに生涯責任を持つ企業であることを約束する企業広告です。

NEW!

ライフスタイル型モデルハウス

7storiesが今秋リニューアルオープン



Tomorrow's Life Museum 関東
ライフスタイル型モデルハウス

みんなの暮らし7storiesがリニューアル。
積水ハウスの新デザイン提案システム
「life knit design」とは何か、「時間と共に
愛着を編み込む住まい」とは何かを体感してい
ただけます。



詳細はこちらから



「Tomorrow's Life Museum」ホームページ
<https://www.sekisuihouse.co.jp/tlm/>